

平成18年社会生活基本調査

(「生活時間に関する結果」の県関係概要)

この概要は、平成18年に実施された「平成18年社会生活基本調査」のうち、今回総務省統計局から公表された「生活時間に関する結果」の、熊本県関係の主なものを取りまとめたものである。
なお、「生活行動に関する結果」については本年8月15日に公表したところである

1 調査の概要

(1) 調査目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とし、総務省統計局が各都道府県を通して昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施。今回は7回目にあたる。

(2) 調査期日

平成18年10月20日現在

(3) 調査対象

全国の世帯から無作為に選定した約8万世帯(熊本県は約1,500世帯)、及びその世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員

(4) 調査事項

住居の種類等に関する事項

ふだんの就業状態等世帯員の属性に関する事項

1日の生活時間の配分に関する事項

過去1年間の生活行動

2 結果の要約

1日の生活時間の配分

- ・1日で最も多くの時間を占めるのは1次活動時間(10時間44分)
- ・1次活動時間が4分減少、3次活動時間が4分増加
- ・本県は全国より1次活動時間が7分長く、2次活動が9分短い。

睡眠

- ・睡眠時間(7時間51分)は、5年前と比べほとんどの年齢階級で減少
- ・10～14歳を除く全ての年齢階級で、女性よりも男性の睡眠時間は長い
- ・47都道府県第11位と長い睡眠時間

仕事時間

- ・有業者の仕事時間(6時間17分)は、5年前と比べ男性は6分増加し、女性は7分減少
- ・減少が続いていた男性の仕事時間が15年ぶりに増加
- ・「正規の職員・従業員」の仕事時間が11分増加

家事関連時間

- ・依然として男女の差(2時間36分)が大きい家事関連時間
- ・全国と比べ本県は男女とも家事関連時間が短い

自由時間活動

- ・休養等自由時間活動(3時間49分)は7分減少し、積極的自由時間活動(1時間14分)は8分増加
- ・過去20年間の傾向は、休養等自由時間活動は減少、積極的自由時間活動は増加

交際・付き合い

- ・交際・付き合い時間(22分)は35歳未満で増加、35歳以上で減少

時間帯別行動者率

- ・平日において、「睡眠」の行動者率が8割を超えるのは0時～5時45分の間

主な行動の平均時刻

- ・47都道府県中第5位と早い平日の「出勤時刻」と「帰宅時刻」
- ・平日において、出勤した人が5割を超えるのは7時45分、帰宅した人が5割を超えるのは18時15分

3 今後の結果公表予定(総務省統計局)

詳細行動分類による生活時間に関する結果……平成19年12月

用語の説明

- ・1次活動……睡眠、食事など生理的に必要な活動
- ・2次活動……仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- ・3次活動……1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動
- ・総平均時間……該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均

本概要では、特に断りのない限り、総平均時間の数値を記載している。

詳細データについては総務省統計局ホームページ(<http://www.stat.go.jp>)をご覧ください。

1日の生活時間の配分

- ・1日で最も多くの時間を占めるのは1次活動時間
- ・1次活動時間が4分減少、3次活動時間が4分増加

10歳以上の人について、1日の生活時間(週全体平均。以下「週全体」という。)をみると、1次活動時間が10時間44分と最も多くの時間を占め、次いで2次活動時間が6時間51分、3次活動時間が6時間24分となっている。

前回と比べると、1次活動時間が4分減少し、2次活動時間は1分減少とほぼ横ばい、3次活動時間が4分増加となっている。

男女別にみると、男女ともに1次活動時間が最も長く、次いで男性は3次活動時間、2次活動時間の順となり、女性は逆に2次活動時間、3次活動時間の順となっている。

(表1) 男女、行動の種類別生活時間(平成13、18年) - 週全体

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
1次活動	10.48	10.44	-0.04	10.43	10.44	0.01	10.52	10.45	-0.07
睡眠	7.54	7.51	-0.03	8.00	8.02	0.02	7.48	7.42	-0.06
身の回りの用事	1.14	1.14	0.00	1.05	1.07	0.02	1.22	1.21	-0.01
食事	1.40	1.39	-0.01	1.37	1.36	-0.01	1.42	1.41	-0.01
2次活動	6.52	6.51	-0.01	6.36	6.37	0.01	7.06	7.04	-0.02
通勤・通学	0.23	0.24	0.01	0.28	0.30	0.02	0.18	0.19	0.01
仕事	3.45	3.45	0.00	4.47	4.43	-0.04	2.50	2.54	0.04
学業	0.48	0.42	-0.06	0.54	0.47	-0.07	0.43	0.38	-0.05
家事	1.24	1.24	0.00	0.12	0.18	0.06	2.28	2.23	-0.05
介護・看護	0.03	0.04	0.01	0.01	0.02	0.01	0.05	0.05	0.00
育児	0.10	0.11	0.01	0.03	0.03	0.00	0.16	0.17	0.01
買い物	0.20	0.21	0.01	0.11	0.14	0.03	0.27	0.28	0.01
3次活動	6.20	6.24	0.04	6.41	6.39	-0.02	6.02	6.12	0.10
移動(通勤・通学を除く)	0.29	0.29	0.00	0.27	0.28	0.01	0.30	0.30	0.00
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.28	2.26	-0.02	2.35	2.30	-0.05	2.22	2.23	0.01
休養・くつろぎ	1.28	1.23	-0.05	1.31	1.24	-0.07	1.25	1.23	-0.02
学習・研究(学業以外)	0.10	0.11	0.01	0.10	0.10	0.00	0.09	0.11	0.02
趣味・娯楽	0.38	0.41	0.03	0.48	0.51	0.03	0.29	0.31	0.02
スポーツ	0.14	0.18	0.04	0.19	0.24	0.05	0.10	0.13	0.03
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.04	0.00	0.05	0.04	-0.01	0.04	0.05	0.01
交際・付き合い	0.23	0.22	-0.01	0.23	0.22	-0.01	0.22	0.22	0.00
受診・療養	0.08	0.10	0.02	0.07	0.07	0.00	0.09	0.12	0.03
その他	0.19	0.21	0.02	0.17	0.18	0.01	0.20	0.23	0.03

注) 1次活動: 睡眠、食事など生理的に必要な活動

2次活動: 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動: 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

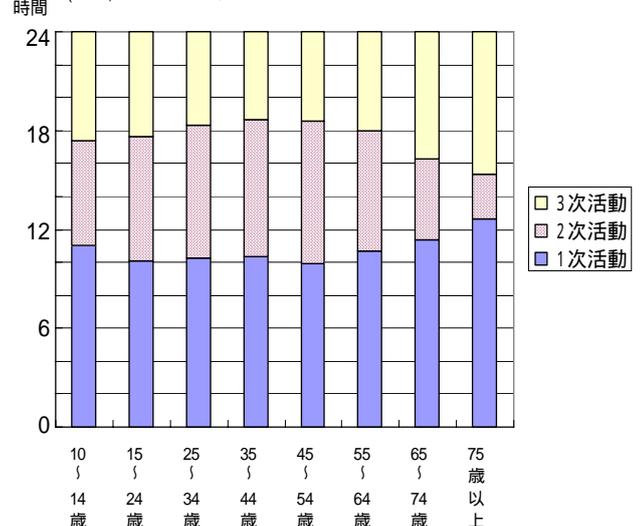
・2次活動時間は45～54歳が最も長い

・25～44歳は年齢が高くなるにつれ2次活動時間が増加し、3次活動時間が減少

年齢階級別に生活時間をみると、1次活動時間は45～54歳(9時間55分)が最も短く、75歳以上(12時間36分)が最も長い。2次活動時間は75歳以上(2時間47分)が最も短く、45～54歳(8時間37分)が最も長い。3次活動時間は35～44歳(5時間19分)が最も短く、75歳以上(8時間37分)が最も長い。

25歳～44歳では、年齢が高くなるにつれ仕事等の2次活動時間が長くなっており、それに伴い、睡眠などの1次活動時間よりも、3次活動時間を削っている。

(図1) 年齢階級別、行動の種類別生活時間 - 週全体



・本県は全国と比べ1次活動時間が7分長く、2次活動時間が9分短い

全国と比べると、本県は1次活動時間が7分長く、2次活動時間が9分短い。

・1日のうち、約3分の1は「睡眠」

行動の種類別にみると、1日の生活時間のうち最も多くの時間を占めているのは「睡眠」、次いで「仕事」、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の順となっている。

「睡眠」で1日の約3分の1を占め、「仕事」の時間もあわせると1日の約2分の1を占めている。

男女別にみると、男女ともに「睡眠」「仕事」の順になり、次いで男性は「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」で、女性は「家事」、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」となっている。

(表2)熊本県と全国の行動の種類別生活時間 - 週全体

	時間.分		
	1次活動	2次活動	3次活動
熊本県	10.44	6.51	6.24
全国	10.37	7.00	6.23
県 - 全国	0.07	-0.09	0.01

(表3)男女、行動の種類別生活時間の上位5位 - 週全体

		総数	男性		女性			
1位	睡眠	7.51	1位	睡眠	8.02	1位	睡眠	7.42
2位	仕事	3.45	2位	仕事	4.43	2位	仕事	2.54
3位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.26	3位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.30	3位	家事	2.23
4位	食事	1.39	4位	食事	1.36	3位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.23
5位	家事	1.24	5位	休養・くつろぎ	1.24	5位	食事	1.41

・平日に比べ土曜、日曜日ともに最も増加した行動は「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」

曜日別に生活時間を比べると、平日に比べ最も減少したのは、土曜、日曜日ともに「仕事」が最も大きく、次いで「学業」の順となった。平日に比べ最も増加したのは、土曜、日曜日ともに「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」となり、次いで土曜日は「交際・付き合い」、「趣味・娯楽」、日曜日は「睡眠」となった。

今回は、土曜日において「趣味・娯楽」が最も増加していたが、18年は「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」となっている。

(表4)平成13年平日との差が大きい行動上位5位

		土曜		日曜	
平日に比べ減少	1位	仕事	(-79)	1位	仕事 (-161)
	2位	学業	(-31)	2位	学業 (-48)
	3位	通勤・通学	(-10)	3位	通勤・通学 (-20)
	4位	身の回りの用事	(-3)	4位	受診・療養 (-3)
	5位	休養・くつろぎ	(-1)	5位	身の回りの用事 (-1)
平日に比べ増加	1位	趣味・娯楽	(23)	1位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 (52)
	2位	交際・付き合い	(18)	2位	睡眠 (38)
	3位	移動(通勤・通学を除く)	(16)	3位	趣味・娯楽 (34)
	3位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	(16)	4位	移動(通勤・通学を除く) (23)
	5位	睡眠	(13)	4位	交際・付き合い (23)

():平日との差(分)

(表5)平成18年平日との差が大きい行動上位5位

		土曜		日曜	
平日に比べ減少	1位	仕事	(-87)	1位	仕事 (-152)
	2位	学業	(-43)	2位	学業 (-45)
	3位	通勤・通学	(-15)	3位	通勤・通学 (-21)
	4位	受診・療養	(-2)	4位	受診・療養 (-6)
	5位	学習・研究(学業以外)	(-1)	5位	学習・研究(学業以外) (-1)
平日に比べ増加	1位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	(32)	1位	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 (48)
	2位	交際・付き合い	(19)	2位	睡眠 (35)
	2位	趣味・娯楽	(19)	3位	趣味・娯楽 (30)
	4位	睡眠	(18)	4位	移動(通勤・通学を除く) (23)
	5位	移動(通勤・通学を除く)	(15)	5位	交際・付き合い (20)

():平日との差(分)

1次活動時間

睡眠

・睡眠時間は前回と比べほとんどの年齢階級で減少

・45～54歳で短い睡眠時間

1次活動時間のうち、睡眠時間は7時間51分で、男性は8時間2分、女性は7時間42分となっている。前回と比べると3分減少している。

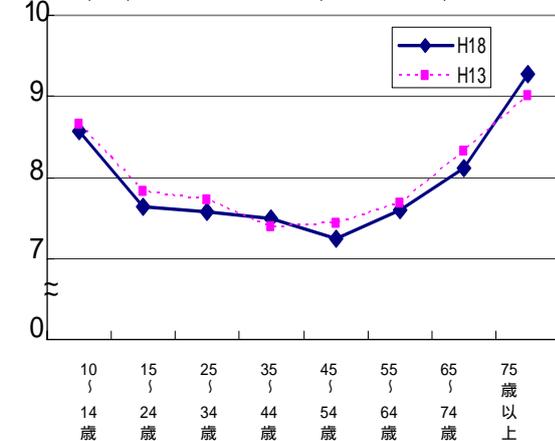
年齢階級別にみると、45～54歳が7時間15分と最も短く、75歳以上が9時間16分と最も長くなっている。

前回と比べると、35～44歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で減少している。

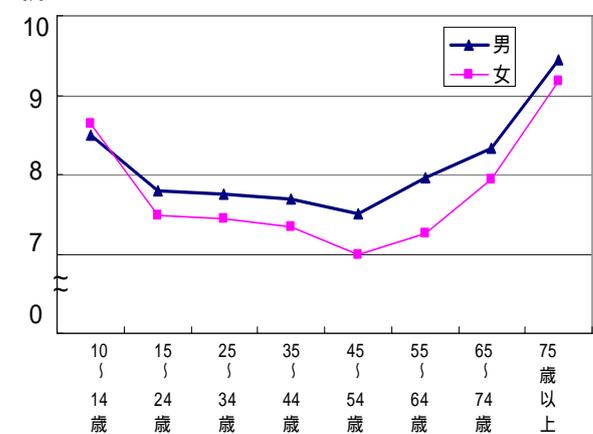
・女性よりも長い男性の睡眠時間

男女、年齢階級別にみると、10～14歳を除く全ての年齢階級で男性が長くなっており、特に55～64歳の年齢階級で女性より42分長くなっている。

(図2) 年齢階級別睡眠時間(平成13、18年) - 週全体



(図3) 男女別、年齢階級別睡眠時間 - 週全体



・日曜日の睡眠時間が減少

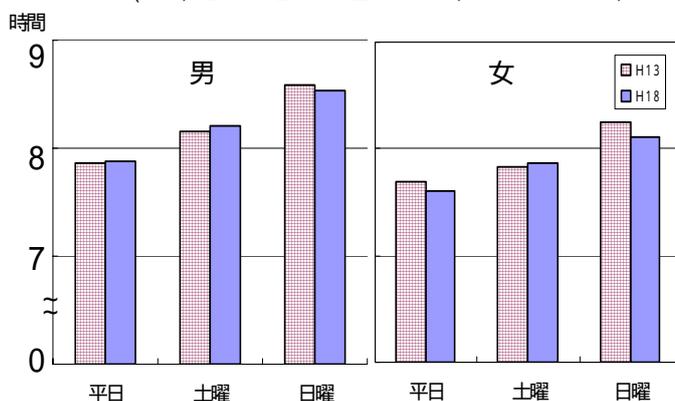
曜日別に睡眠時間をみると、1日(午前0時から起算する24時間)のうち、平日は7時間44分、土曜日は8時間2分、日曜日は8時間19分となり、日曜日は平日に比べ35分長くなっている。

男女別に前回と比べると、男女ともに日曜日は減少し、土曜日は増加している。

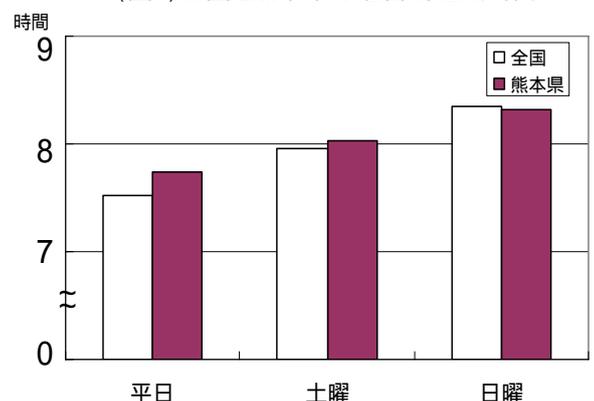
・47都道府県中第11位と長い睡眠時間

全国(7時間42分)と比べると本県は9分長く、47都道府県中第11位と全国的にみても長い。曜日別にみると、平日で13分と土曜日で5分全国を上回っている。

(図4) 男女、曜日別睡眠時間(平成13、18年)



(図5) 全国と熊本県の曜日別睡眠時間



2次活動時間

仕事時間

- ・仕事時間は前回と比べ男性は6分増加し、女性は7分減少
- ・仕事時間の減少が大きい15～24歳の男性

2次活動時間のうち、有業者(15歳以上、以下同じ。)の仕事時間は6時間17分で、男性は7時間3分、女性は5時間25分となっている。

前回と比べると1分減少し、男性は6分増加し、女性は7分減少となった。

男女、年齢階級別にみると、男性は45～54歳が7時間43分と最も長く、女性は15～24歳が6時間19分と最も長くなっている。

前回と比べると、最も減少したのは、男性は15～24歳で1時間21分、女性は75歳以上で1時間33分の減少、最も増加したのは、男性は75歳以上で51分、女性は65～74歳で48分の増加となった。

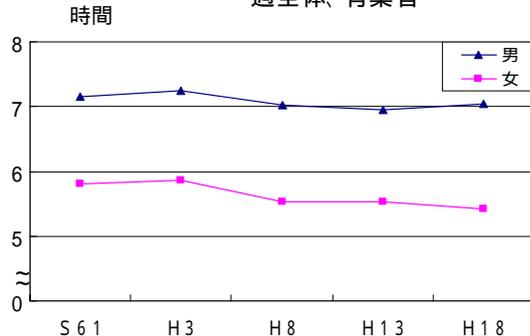
(表6)男女、年齢階級別仕事時間(平成13、18年) - 週全体、有業者

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
総数	6.18	6.17	-0.01	6.57	7.03	0.06	5.32	5.25	-0.07
15～24歳	6.49	6.26	-0.23	7.59	6.38	-1.21	5.59	6.19	0.20
25～34歳	6.28	6.26	-0.02	7.10	7.15	0.05	5.30	5.30	0.00
35～44歳	6.57	6.23	-0.34	7.55	7.22	-0.33	5.43	5.18	-0.25
45～54歳	6.34	6.35	0.01	7.01	7.43	0.42	6.03	5.21	-0.42
55～64歳	6.05	6.14	0.09	6.56	7.02	0.06	5.10	5.18	0.08
65～74歳	4.59	5.42	0.43	5.23	6.02	0.39	4.29	5.17	0.48
75歳以上	3.19	3.36	0.17	3.11	4.02	0.51	3.51	2.18	-1.33

・減少が続いていた男性の仕事時間が15年ぶりに増加

有業者について、過去20年間の仕事時間の推移をみると、平成3年から減少が続いているが、男性は15年ぶりに増加に転じた。

(図6)男女別仕事時間の推移(昭和61年～平成18年) - 週全体、有業者



(表7)男女別仕事時間の推移(昭和61年～平成18年) - 週全体、有業者

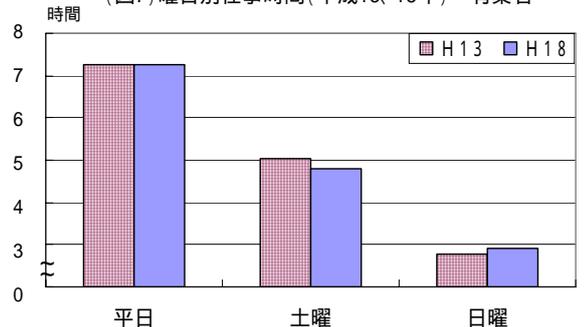
	総数	男	女
昭和61年	6.33	7.09	5.48
平成3年	6.38	7.15	5.52
平成8年	6.21	7.01	5.32
平成13年	6.18	6.57	5.32
平成18年	6.17	7.03	5.25

・仕事時間は土曜日で減少、日曜日で増加

有業者の仕事時間を曜日別にみると、平日は7時間15分、土曜日は4時間47分、日曜日は2時間54分となっている。

前回と比べると、平日は1分減少とほぼ横ばい、土曜日は16分減少、日曜日は8分増加となった。

(図7)曜日別仕事時間(平成13、18年) - 有業者

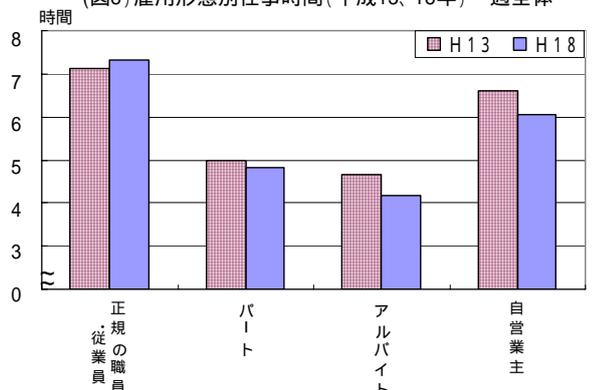


・「正規の職員・従業員」の仕事時間が増加

従業上の地位別に仕事時間をみると、「正規の職員・従業員」が7時間19分と最も長く、次いで「自営業主」の6時間4分となっている。

前回と比べると、「正規の職員・従業員」が11分増加し、その他は全て減少している。

(図8)雇用形態別仕事時間(平成13、18年) - 週全体



家事関連時間

・家事関連時間は 35～44 歳の女性が最も長い

2次活動時間のうち、家事関連時間は 2 時間で、男性は 37 分、女性は 3 時間 13 分と男女の間で大きな差がある。前回と比べると、男性は 10 分増加し、女性は 3 分減少となった。

男女、年齢階級別にみると、男性は 75 歳以上が 1 時間 6 分と最も長く、女性は 35～44 歳が 4 時間 11 分と最も長くなっている。

前回と比べると、男性は 10～14 歳を除く全ての年齢階級で増加しており、女性は 25～44 歳で大幅な減少となった。

(表8) 男女、年齢階級別家事関連時間(平成13、18年) - 週全体

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
総数	1.57	2.00	0.03	0.27	0.37	0.10	3.16	3.13	-0.03
10～14歳	0.20	0.13	-0.07	0.15	0.07	-0.08	0.23	0.20	-0.03
15～24歳	0.35	0.40	0.05	0.15	0.20	0.05	0.56	0.59	0.03
25～34歳	2.24	1.51	-0.33	0.29	0.35	0.06	4.10	3.02	-1.08
35～44歳	2.38	2.30	-0.08	0.24	0.36	0.12	4.41	4.11	-0.30
45～54歳	2.04	2.16	0.12	0.20	0.25	0.05	3.43	4.01	0.18
55～64歳	2.23	2.26	0.03	0.32	0.38	0.06	3.55	4.06	0.11
65～74歳	2.19	2.44	0.25	0.37	1.01	0.24	3.43	4.05	0.22
75歳以上	1.57	2.06	0.09	0.51	1.06	0.15	2.36	2.45	0.09

注) 家事関連時間…家事、介護・看護、育児及び買い物

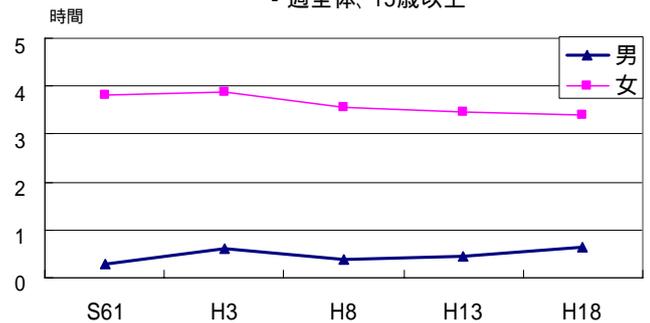
・依然として男女の差が大きい家事関連時間

過去 20 年間の家事関連時間の推移を、比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると、男性は増加傾向で、昭和 61 年と比べ 20 分増加となっているのに対し、女性は減少傾向で、昭和 61 年に比べ 25 分減少している。

男女差も昭和 61 年の 3 時間 30 分差から平成 18 年の 2 時間 45 分差と縮小しているものの、依然として男女差は大きい。

就業状態別に夫と妻の家事関連時間をみると、全ての場合において妻の時間が長い。

(図9) 男女別家事関連時間の推移(昭和61～平成18年) - 週全体、15歳以上



(表9) 就業状態別、夫と妻の家事関連時間 - 週全体

	夫	妻	差(妻 - 夫)
夫が有業で妻も有業(共働き)	0.24	4.04	3.40
夫が有業で妻が無業	0.39	6.37	5.58
夫が無業で妻が有業	1.22	3.18	1.56
夫が無業で妻も無業	1.11	4.42	3.31

・全国と比べ本県は男女とも家事関連時間が短い

家事関連時間を全国と比べると、本県は 8 分短く 47 都道府県中第 44 位となっている。

女性は、全国と比べ 22 分短く、47 都道府県中第 44 位となり、男性も 1 分短く、47 都道府県中第 25 位と、男女とも全国と比べ短い。

(表10) 都道府県別家事関連時間 - 週全体(総数)

順位	都道府県	総平均時間
1	奈良県	2.24
2	兵庫県	2.19
2	山口県	2.19
4	神奈川県	2.17
4	和歌山県	2.17
43	佐賀県	2.01
44	宮城県	2.00
44	山形県	2.00
44	熊本県	2.00
47	青森県	1.58

(表11) 都道府県別家事関連時間 - 週全体(女)

順位	都道府県	総平均時間
1	奈良県	4.03
2	神奈川県	3.54
3	埼玉県	3.50
3	京都府	3.50
5	兵庫県	3.49
43	宮城県	3.15
44	秋田県	3.13
44	山形県	3.13
44	熊本県	3.13
47	青森県	3.11

3次活動時間

自由時間活動

・休養等自由時間活動は減少し、積極的自由時間活動は増加

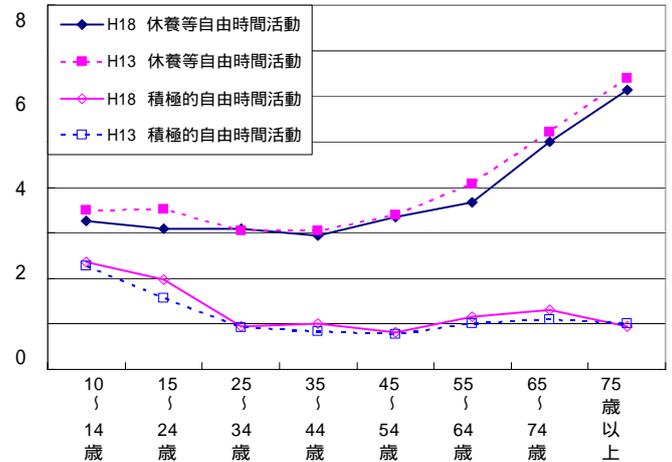
3次活動時間のうち、休養等自由時間活動の時間は3時間49分で、男性は3時間54分、女性は3時間46分となっている。

前回と比べると、7分の減少となっており、男性は12分減少し、女性は1分減少となり、男性が大きく減少している。年齢階級別にみても、25～34歳を除く全ての年齢階級で減少している。

積極的自由時間活動の時間は1時間14分で、男性は1時間29分、女性は1時間となっている。

前回と比べると、8分増加し、男女とも増加している。年齢階級別にみても、75歳以上を除く全ての年齢階級で増加している。

(図10) 男女、年齢階級別自由時間(平成13、18年) - 週全体時間



(表12) 男女、年齢階級別自由時間活動の時間(平成13、18年) - 週全体

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
休養等自由時間活動	3.56	3.49	-0.07	4.06	3.54	-0.12	3.47	3.46	-0.01
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.28	2.26	-0.02	2.35	2.30	-0.05	2.22	2.23	0.01
休養・くつろぎ	1.28	1.23	-0.05	1.31	1.24	-0.07	1.25	1.23	-0.02
積極的自由時間活動	1.06	1.14	0.08	1.22	1.29	0.07	0.52	1.00	0.08
学習・研究(学業以外)	0.10	0.11	0.01	0.10	0.10	0.00	0.09	0.11	0.02
趣味・娯楽	0.38	0.41	0.03	0.48	0.51	0.03	0.29	0.31	0.02
スポーツ	0.14	0.18	0.04	0.19	0.24	0.05	0.10	0.13	0.03
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.04	0.00	0.05	0.04	-0.01	0.04	0.05	0.01

注) 休養等自由時間活動: テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ
積極的自由時間活動: 学習・研究(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

・過去20年間の傾向は、休養等自由時間活動は減少、積極的自由時間活動は増加

主な行動の種類別に過去20年間の自由時間の推移を比較可能な年齢区分である15歳以上の人についてみると、休養等自由時間活動は平成8年から減少傾向で、積極的自由時間活動は平成3年から増加傾向となっている。

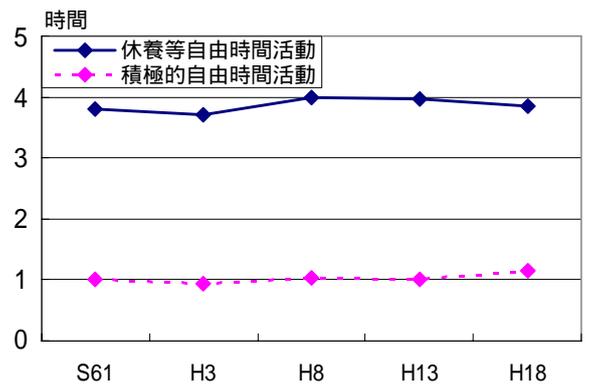
交際・付き合い

・交際・付き合い時間は35歳未満で増加、35歳以上で減少

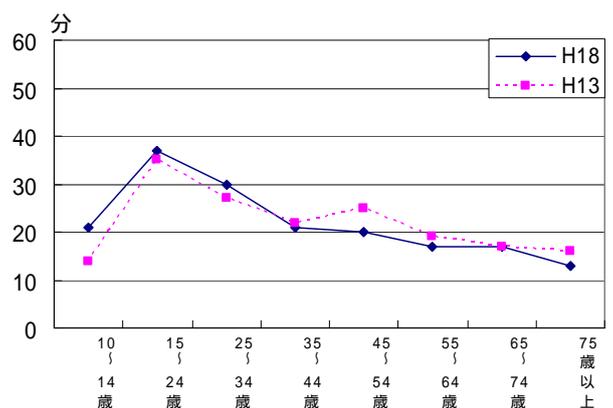
交際・付き合いの時間は22分で、男女とも22分となっている。

年齢階級別に前回と比べると、10～34歳までの若い年齢階級で増加しているのに対し、35歳以上の年齢階級では減少している。

(図11) 自由時間の推移(昭和61年～平成18年) - 週全体、15歳以上



(図12) 年齢階級別交際・付き合いの時間(平成13、18年) - 週全体

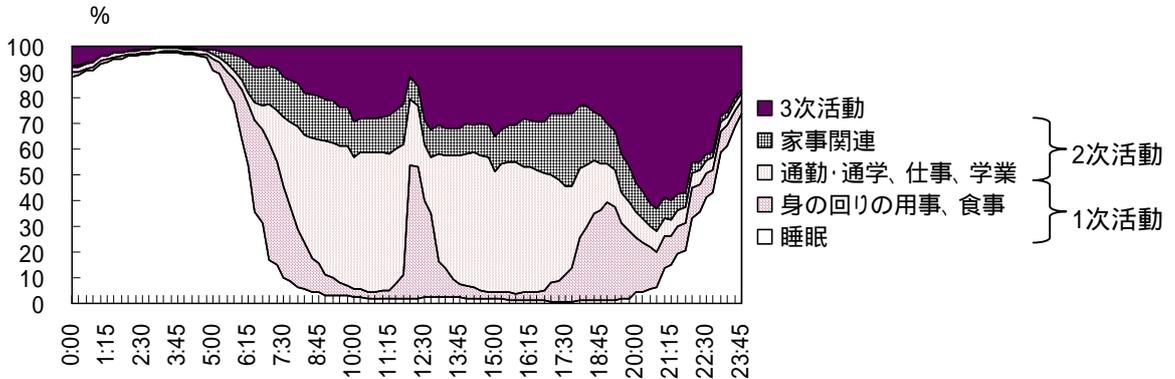


時間帯別行動者率

・平日において、「睡眠」の行動者率が8割を超えるのは0時～5時45分の間

平日の15歳以上の行動者率を時間帯別にみると、「睡眠」の行動者率が8割を超えている時間帯は0時～5時45分の間となっている。3次活動の行動者率が5割を超えている時間帯は20時～22時の間となっている。

(図13) 平日の行動の種類別、時間帯別行動者率 - 15歳以上



主な行動の平均時刻

・47都道府県中第5位と早い平日の「出勤時刻」と「帰宅時刻」

曜日別の主な行動の平均時刻をみると、平日に比べ土曜と日曜は「起床時刻」及び「朝食開始時刻」が遅くなり、「夕食開始時刻」については早くなっている。

全国と比べると、平日の「朝食開始時刻」と日曜の「出勤時刻」を除き、全国より行動開始時刻が早い。特に、平日の「出勤時刻」及び「帰宅時刻」については47都道府県中第5位、平日の「就寝時刻」については47都道府県中第11位と早い。

(表13) 曜日別にみた主な行動の平均時刻 (熊本県、全国)

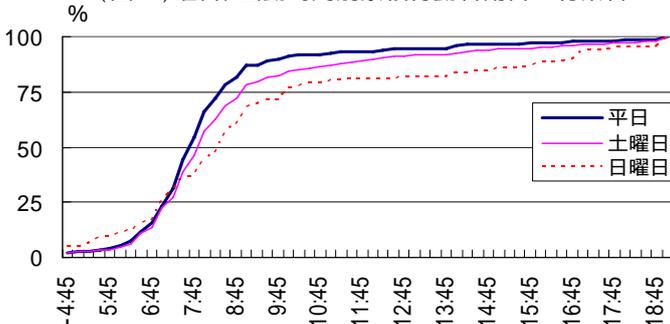
	平日		土曜		日曜	
	熊本県	全国	熊本県	全国	熊本県	全国
起床時刻	6:35	6:39	7:05	7:07	7:10	7:23
朝食開始時刻	7:14	7:12	7:29	7:33	7:42	7:46
出勤時刻(有業者)	8:15	8:28	8:46	8:53	9:28	9:27
帰宅時刻(有業者)	18:25	18:58	17:58	18:25	18:31	18:35
夕食開始時刻	18:58	19:09	18:48	18:53	18:34	18:46
就寝時刻	22:58	23:16	23:15	23:20	22:51	23:04

・平日において出勤した人が5割を超えるのは7時45分、帰宅した人が5割を超えるのは18時15分

有業者の出勤時刻の曜日別行動者割合をみると、出勤した人が5割を超える時刻は、平日は7時45分、土曜日は8時、日曜日は8時30分となっている。

帰宅時刻について、帰宅した人が5割を超える時刻は、平日は18時15分、土・日曜日は18時となっている。

(図14) 曜日、出勤時刻別累積行動者割合 - 有業者



(図15) 曜日別、帰宅時刻別累積行動者割合 - 有業者

